

## 防災力、減災力向上のための 対策について



平井 玲子 議員



### 市民への情報伝達

**質問** 現行の伝達手段のほか、今後の検討の方向性や、具体的に考えているものがあるか、お尋ねします。

**答** 現在、防災情報伝達システムの実施設計を行っています。スマートフォンなどの携帯端末や戸別受信機、屋外スピーカーによる

情報伝達システムの導入を検討しています。また、避難所にもなる学校にスピーカーを設置することも有効な手段として考えています。

**質問** 戸別受信機の配備は、特別交付税措置の対象となっており、これを利用できません。戸別受信機導入についてお尋ねいたします。

**答** 戸別受信機はスマートフォン、携帯電話等を持たず、みずから情報を得る手段が少ない高齢者世帯等に貸し出しすることを検討しています。

### 移動式赤ちゃんの駅

**質問** 移動式赤ちゃんの駅は、プライバシーを確保するための移動が可能なテントで、折り畳み式おむつ交換台、授乳用の椅子、クッションマットなどを一式そろえたものです。災害時の避難所での活用なども考え

報が発表されたことを受け、避難者の受け入れ拡大のため、午後8時30分、城沼総合体育館を避難所として追加開設し、今回の台風では14か所の避難所において約1090名の避難者の受け入れを行いました。



られますが、本市の現状についてお尋ねいたします。

**答** 他市において、イベントなどで貸し出している事例も確認できますが、本市ではこれまでに導入した実績はありません。

### 要望

屋外はもとより、屋内にも設置することが可能です。授乳室やおむつ替えスペースが設置されていない施設や、学校等で催される行事などへの活用ができます。何より災害時における避難所等のおむつ交換や、授乳時のプライバシーの確保及び女性避難者の着替え場所などにも活用ができません。移動式赤ちゃんの駅の導入については要望といたします。



柴田 信議員



## 台風19号に係る対応及び 今後の取組と第五次総合計画について

**質問** 台風19号に係る対応について伺います。

**答** 早い段階で本市への影響が大きいことが見込まれたため、早めの避難行動に対応できるよう台風接近に備え、自主避難所を7か所開設するとともに、避難情報の発令を行いました。

### 質問

した経緯について伺います。  
**答** 午後6時に谷田川、新堀川、秋山川流域の地区に「避難勧告（警戒レベル4）」を発令し、浸水の影響が少ないと判断した一少や五小など新たに6か所の避難所を開設し、避難所はこの時点で13か所となりました。その後、大雨特別警

**質問** 今回の台風の対応に係る課題や今後の取組について伺います。

**答** 内部の体制や避難所対応等、課題も明らかになったことから、その教訓も踏まえ見直しを行い、全庁

体制で機能するよう努めていきたいと考えています。

**質問** 全国的にも人口減少が言われて久しいですが、館林市第五次総合計画の後期基本計画の取組における本市の人口減少対策について伺います。

**答** 本市においても少子高齢化の進行に伴う生産年齢人口の減少や、老年人口の増加により、労働力の不足、社会保障費の増加など、難しい局面を打開するため、まち・ひと・しごと創生人

ロビジョン・総合戦略を策定し、各種施策に取り組んでいます。本社機移誘致移住奨励金を創設し、移住人口の増加に努めているほか、市内での移住相談会の実施、妊娠出産の包括支援、空き家の活用への支援など、総合戦略に沿った施策を着実に実施することにより、人口減少による影響を最小限に食い止め、安定した行財政運営を継続し、持続可能なまちづくりの推進に努めたいと考えています。